

『おもてなし』も思い出しに

JR登別駅のポーターサービス

1月21日(月)から2月19日(火)にかけて、JR登別駅で、観光客の手荷物の運搬を補助する『ポーターサービス』（登別国際観光コンベンション協会、市主催）を実施しました。

アジア圏から多くの外国人観光客が訪れている登別市。観光客の利便性を向上し、登別の満足度をより高めてもらおうと、特に混雑する春節（旧正月）の時期に合わせて行っているこの取り組みは、今年で4年目を迎え、平成30年度は、一日平均約250個の荷物を運びました。

市は、登別を訪れる観光客にとって、より魅力的な観光都市となるよう、関係機関と連携しながら、引き続き、取り組みを進めていきます。

1/21
~
2/19



▲登別駅に到着した観光客の大きなスーツケースなどを、反対側のホームまで運ぶ『ポーターサービス』

平成最後にお片付け

第4回くらしの安全・安心セミナー

1月28日(月)、市民会館で、『くらしの安全・安心セミナー』（登別消費者協会主催）が開かれました。

今回のテーマは『整理・収納』。北海道消費者協会非常勤講師で、整理収納アドバイザーなどの資格をもつ桑島まゆみさんを講師に招き、「出す・分ける・しまう」といった整理収納のコツを参加者へ伝えたほか、冷蔵庫や食品庫の片付けと合わせて、防災食などの準備についてもアドバイスをしました。

桑島さんは、「今日学んだことは、いつかやるのではなく、帰ったらすぐに行動してください」と参加者たちに力強く呼び掛けました。

1/28



▲家の整理と合わせて防災備品がどこにあるか確認しておくことより効果的に話す桑島さん

市内各所に鬼現る

2019鬼まつり

1月26日(土)、登別・幌別・鶯別の市内3地区で『2019鬼まつり』（同実行委員会主催）が開催されました。

節分にちなんで鬼や福の神に扮した『元鬼ふりまき隊（豆まき隊）』が、保育所や介護施設、商業施設、飲食店、希望する個人宅など、約300軒を練り歩き、無病息災や家内安全、商売繁盛を祈願する演舞や豆まきなどを行いました。

市内各所では、突如現れた鬼に泣き出してしまっ子どもたちを優しく見守るたくさんの方の姿が見られました。

1/26



▲大型商業施設にて和太鼓演奏に合わせた鬼の演舞を披露

義足体験で学んだこと

東京2020公認教育プログラム

ユニバーサル・ラン（スポーツ義足体験授業）

1月30日(水)、幌別西小学校で、5年生を対象とした体験授業『ユニバーサル・ラン』が行われました。

この授業は、東京2020ゴールドパートナーである株式会社LIXILが、平成29年から実施しているもので、道内では初の開催となりました。

児童たちは、全国障害者スポーツ大会の砲丸投げで金メダルを獲得した経験をもつ田中聡さんとの会話を通じて、義足での生活を身近に感じるとともに、実際にスポーツ用義足を装着してマットの上を歩いたり、走ったりして、「義足で歩くのは大変だった」、「貴重な体験ができてよかった」などと話をしていました。

1/30



▲スポーツ用義足を装着して走る児童と並走する田中さん（左）